

【39】跳躍審判員

1 任 務

正確に計測した高さを正しく跳んだかを判定し、記録を正確に記録する。最後に順位を決定する。

(走高跳・棒高跳)

正しく跳んだかどうかを判定し、正確に計測して記録を正確に記録する。最後に順位を決定する。

(走幅跳・三段跳)

2 任務と編成

(1) 主任

- ① 審判長を補佐し、跳躍審判員に適宜必要な任務を指示し、審判上の諸問題の処理に関して責任を持つ。競技場所(ピット含)を変更する場合は審判長の判断に従うこと。
- ② 問題の決定を下すにあたり、疑問が生じ、決定できないような事態が生じた場合は、跳躍審判長にその決定を求める。
- ③ 各跳躍競技の審判員配置割り振りを行い、競技審判運営を把握し各班の任務を遂行させる。
- ④ 各班長との連携を密にし、申し入れのあった事態に対して迅速に対応する。
- ⑤ 必要な用器具等の一覧表及び運営計画表を作成し、跳躍審判員に徹底させる。

(2) 副主任

- ① 主任を補佐し、任務が遂行できるようにする。
- ② 副主任は、走高跳・走幅跳・三段跳・棒高跳の各競技場所に配置され、主任と連携をとり、競技運営及び進行が円滑に行われるようにする。

(3) 班長

- ① 班の審判員及び補助員を確認し、業務担当の指示を行い、班全体の管理・運営にあたる。
- ② 競技に関する問題等が発生した場合は、主任に連絡しその対処を迅速に行う。

(4) 審判員

- ① 審判割り振りにより各自の班を確認し、班長の指示のもと競技運営を行う。
- ② 競技に関する問題等が発生した場合は、その場で判断せず班長に伝え、指示を受け迅速に対処する。

3 共通留意点

- (1) 事前に用器具等の一覧表を見て器具の準備と点検を行うとともに、運営計画表により確認の上、定められた時間に定位置に置く。(特に新しい用器具の取扱いは十分熟知しておく)
- (2) 棒高跳の競技者における練習は、最終点呼まで自由練習とし、危害を予防には十分注意する。
- (3) 競技者、監督、観衆の不信の念を持たせないよう、次のことに注意する。
 - ① 判定は自信をもって行う。
 - ② 競技者には、公平かつ平等な言動をもって接する。
 - ③ 競技場における態度は、整然たる行動をとり、他の種目に気を捕られることなく公平な判定をし、競技者、監督、観衆から信頼を得る言動をする。
- (4) 雨天時には、次のことに留意する。
 - ① 競技者の控所
 - ② 用器具の保護(マット、ポール、用器具等、電気関係)
 - ③ 記録用紙の保護
 - ④ 審判員及び補助員の服装
 - ⑤ 用器具は手入れをしてから返納する。

- (5) 炎天下には、次のことに留意する。
- ① 競技者の控所(日陰の確保)
 - ② 審判員及び補助員の服装と給水
- (6) 競技場内における競技者に対する助言及び助力に注意する。特に走高跳の競技において、試技する競技者以外の選手がトラック上へ出ないように注意する。
- (7) 競技者とその場のおおよその風向と風力を知ることができるように、種目により異なるが踏切地点の近く及び助走のスタート地点等に吹流しを置く。
- (8) 同時に2種目以上出場する競技者の取り扱いは、競技開始前に必ず申し出るように指導する。
- (9) 競技場所を変更する時は、跳躍審判長の指示がある時だけである。
- (10) 最終点呼後の練習は、プログラム順に2回行う。
- (11) 競技が開始されたら、競技者にはその競技場所での練習を禁止する。
- (12) 競技者が使用する助走路のマーカ―は、主催者側が準備したものを使用する。そのマーカ―は、白線から外側に離し、併せて元の場所に各自で返却するように指導する。(マーカ―は2個まで)
- (13) 競技者のナンバーと記録の表示は、正確かつ迅速に行う。
- (14) 予選で標準記録突破者は、ラウンド終了後にまとまって場内司令の誘導でミックスゾーンを経て退場させる。また、決勝でTOP8に残れなかった競技者は、場内司令と連絡をとり、ミックスゾーンを通過して退場させる。
- (15) 競技終了後、第8位までの入賞者を、場内司令を介して速やかにミックスゾーンに案内し、入賞者管理係に引き継ぐ。跳躍審判員がミックスゾーンへ案内することもある。
- (16) トイレ等で競技者が競技場所を離れる時は、必ず審判員(同性)が同行する。(呼出係、マーシャルも可)
- (17) 後追い助走練習は禁止とする。

4 種目ごとの審判員編成と分担

(1) 走高跳

① 班長

- (7) 特に次の事項に留意し、班全体の管理・運営にあたる。
- ・ 班の審判員及び補助員を確認し、業務担当の指示をする。
 - ・ 競技場所へ持参する用器具等を、競技場所準備の30分前に用器具の一覧表をもとに、用器具係から受け取る。(他の班員とともに確認して行う) 競技終了後は点検して返納する。
 - ・ 競技場所を設置する時、班員に作業内容を指示する。(設置する時間は運営計画表による)
 - ・ 競技開始前に競技場所及び用器具等を再点検し、不備な点があれば担当の係に連絡して、準備を完了させる。
 - ・ 選手誘導係から競技者を引き継ぎ、競技者に対して諸注意を与え、その後最終点呼を行いアスリートビブスを確認する。
 - ・ 新記録が試みられる時は、アナウンサー(ディレクター)及び主任・跳躍審判長にインカムを通じて連絡する。
 - ・ 同時に行われている他の競技の様子を見ながら、試技スタートの指示を競技者呼出係、判定員等に行う。
 - ・ 競技者に緊急を要する事態(傷病など)が発生した場合は、インカムを通じて緊急事態マニュアルに従って主任・跳躍審判長に連絡する。
 - ・ 審判員、補助員の入退場の指揮をする。
 - ・ 審判員、補助員の昼食、給水、休憩の指示をする。

《班長による競技開始前の点検事項及び確認事項》

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 競技場所の確認 | <input type="checkbox"/> 吹流し及びその設置場所 |
| <input type="checkbox"/> 支柱及び位置の確認 | <input type="checkbox"/> 競技者用テント、ベンチの数と位置 |
| <input type="checkbox"/> マットの状態確認 | <input type="checkbox"/> 判定用紅白旗 |
| <input type="checkbox"/> 使用するバーの本数と状態の確認 | <input type="checkbox"/> 記録担当用机椅子及び記録用紙、筆記用具 |
| <input type="checkbox"/> 高度計の確認 | <input type="checkbox"/> 両支柱横 3 m のテープ |
| <input type="checkbox"/> ハンドマイクの確認 | <input type="checkbox"/> 情報 (P C) 関係一式 |
| <input type="checkbox"/> 制限時間告知器の点検確認と位置、黄旗 | <input type="checkbox"/> フィールド電光掲示板 |
| <input type="checkbox"/> マーカーの準備 (数、ガムテープ) | <input type="checkbox"/> マットカバー |

(イ) 競技者が競技場所に到着したら、次のことに注意する。

- ・練習は審判員の指示に従って行わせ、自分勝手な練習や競技中の練習は禁止させる。
- ・試技が許される時間を知らせる。
- ・競技中、監督、コーチなどの助言、助力に注意する。
- ・ある高さまでパスする競技者は、記録担当まで申告させる。
- ・他の種目を兼ねている競技者は、必ず班長に申告させる。
- ・競技終了後 8 位までの入賞者はマーシャルを介して、ミックスゾーンに誘導し入賞者管理係に引き継ぐ。
- ・競技者がカメラマン等を気にする時は、そのカメラマンに遠慮 (注意) を促す。

(ロ) 計測に立ち会う。記録 (日本記録、大会記録等) が試みられる時は、主任・跳躍審判長に連絡し立ち会いを得る。(決定後にアナウンサーに連絡する)

(ハ) 新記録が試みられる時は、複数の審判員で計測する。

(ニ) 競技場所の移動が必要な時は、跳躍審判長の許可を得てから移動する。

(ホ) 記録担当の記録を、新しい高さ変わる時と競技終了後に点検する。

(ヘ) 制限時間に変更があれば、計時担当に指示する。

(ト) 競技が終了したら、記録担当から記録用紙を受け取り、記録、順位、コメント等を確認の上、主任・跳躍審判長等の署名等を得て記録情報処理員に手渡しする。

② 主審 (判定員)

(ア) 判定の責任者として、有効・無効の判定を紅白旗ではっきりと表示する。

(イ) 班長の指示を受け、紅白旗を用いて、競技開始・競技終了の合図を本部、競技者、会場に告げる。

(ロ) 試技の開始準備ができたなら、記録担当に報告し、ナンバーカードを呼び出してもらい、その後に競技者に白旗をおろして知らせる。

(ハ) 呼び出した競技者と試技する者が合っているか、ナンバーカードをチェックする。

③ 計測担当

(ア) 競技開始前と競技中に、次のことに注意点検する。

- ・支柱とバーとラインテープの位置関係を確認する。
- ・支柱とバーの両端との間は、少なくとも 1 c m あける。
- ・支柱とマットの間隔は、少なくとも 1 0 c m あける。
- ・バーの向きを一定にする。
- ・バー止めは確実にねじを留める。

(イ) 計測の責任者として、高度計の目盛りを確認する。(高度計は、垂直・左右・前後を確認)

(ロ) 計測する場所を常に一定にして計測する。

(ハ) バーを新しい高さに上げた時、その高さを計測する。

- (カ) 使用するバーを選定する。
- (キ) 新記録が試みられる時は、班長をはじめ複数の審判員が計測を確認する。
(主任・跳躍審判長)
- (ク) 2m00以上の高さの測定の場合は、台に乗り測定する。(信頼性)

④ 記録担当

- (ア) 競技者のナンバーを確認し、判定員の判定に従い、有効・無効を定められた記号で、その都度記入する。その際「よし」「だめ」を複唱し、記入間違いのないように注意する。
ラウンドごとに照合点検する。
- (イ) パスする競技者を確認する。ある高さをパスした競技者は、その後同じ高さを試技することはできない。ただし、他の競技に出場している場合は、TR26.2による。
- (ウ) 試技の時、ナンバーカードを読み上げ、試技を促す。(同時に判定員が白旗をおろして合図をする)
- (エ) 記録(日本記録、大会記録等)が試みられる時は、班長に伝え、アナウンサー及び主任・跳躍審判長にインカムで連絡してもらう。
- (オ) 記録表示板にラウンド・高さ・ナンバーを表示し、観衆・アナウンサーに告知する。

⑤ 計時担当

- (ア) 制限時間を競技者(試技者)に指示する責任を持つ。
- (イ) 試技ができるようにすべての準備が完了した時(呼出担当が前もって指示し、記録担当が競技者の呼出し完了後)、判定員が白旗をおろすと同時に、計時担当が制限時間告知器をスタートさせる。
- (ウ) 制限時間が残り15秒になったら黄旗をあげ続けるか、その他の方法で適切に知らせる。
ただし、極端に競技者を刺激しないように気をつける。
- (エ) 制限時間を超過した時は、判定員に連絡する。
※ 助走を開始したら問題はない。ルーティンに関しても気をつける。
- (オ) 競技中に試技者への妨害が生じないように注意する。

⑥ 競技者呼出担当

- (ア) 記録担当審判員に出場競技者、ナンバー、試技順を確認し、競技者の点呼とナンバーカードの点検をする。
- (イ) 競技者の掌握と管理を行う。(助言に注意し、特に監督・コーチ等の呼び寄せに応じさせない。また、状況により、場内司令及び審判長に連絡、報告する)
- (ウ) 助走マークの使用について指示する。
- (エ) 競技者に試技順を知らせ試技順で平等に練習させる。練習が終了したら班長に連絡する。
- (オ) 他の種目を兼ねている競技者については、跳躍審判長→跳躍主任の指示を得て、記録担当と連絡をとって処理する。(事前打ち合わせをしておく)
- (カ) 競技が開始され一人の競技者がスタート地点に立ったら、次の競技者に準備をさせる。また試技をパスする競技者がいる場合は、できるだけ早く次の競技者にその旨を知らせる。
- (キ)トラックから助走する競技者については、班長、マーシャルと連携し、トラック競技の妨げとならないように配慮する。
- (ク) マーシャルと連携をとって、競技終了競技者の退場を適宜指示する。(できるだけ、人数をまとめてミックスゾーンを通過して退場させる)また、トイレ等で競技場を離れる時は、マーシャルと連携して対応する。
- (ケ) 8位までの入賞者はマーシャルを介してミックスゾーンに誘導し、入賞者管理係に引き継ぐ。

⑦ 補助員の任務

- (ア) バーをバー止めにのせる。
- (イ) 審判員の指示に従い、バー止めを上下させる。
- (ウ) バーの揺れを止める。

(2) 棒高跳

① 班長

- (ア) 特に次の事項に留意し、班全体の管理・運営にあたる。
 - ・班の審判員及び補助員を確認し、業務担当の指示をする。
 - ・競技場所へ持参する用器具等を、競技場所準備の30分前に用器具の一覧表をもとに、用器具係から受け取る。(他の班員とともに確認して行う) 競技終了後は点検して返納する。
 - ・競技場所を設置する時、班員に作業内容を指示する。(設置する時間は運営計画表による)
 - ・競技開始前に競技場所及び用器具等を再点検し、不備な点があれば担当の係に連絡して、準備を完了させる。
 - ・選手誘導係から競技者を引き継ぎ、競技者に対して諸注意を与え、その後最終点呼を行い、ナンバーカードを確認する。
 - ・新記録が試みられる時は、アナウンサー(ディレクター)及び主任・跳躍審判長にインカムを通じて連絡する。
 - ・同時に行われている他の競技の様子を見ながら、試技スタートの指示を競技者呼出係、判定員等に行う。
 - ・競技者に緊急を要する事態(傷病など)が発生した場合は、インカムを通じて緊急事態マニュアルに従って主任・跳躍審判長に連絡する。
 - ・審判員、補助員の入退場の指揮をする。
 - ・審判員、補助員の昼食、給水、休憩の指示をする。
- (イ) 競技者が競技場所に到着したら、次のことに注意する。
 - ・練習は審判員の指示に従って行わせ、自分勝手な練習や競技中の練習は禁止させる。
 - ・試技が許される時間を知らせる。
 - ・競技中に監督、コーチ等の助言・助力について注意する。
 - ・競技者の手や指にテープを巻いている時は、巻き方等を検査する。
 - ・ある高さまでパスをする競技者は、記録係まで申告させる。
 - ・アップライトの申請を行わせる。
- (ウ) 計測に立ち会う。記録(日本記録、大会記録等)が試みられる時は、主任・跳躍審判長に連絡し立ち会いを得る。(決定後にアナウンサーに連絡する)
- (エ) 新記録が試みられる時は、複数の審判員で計測する。
- (オ) 競技場所の移動が必要な時は、跳躍審判長の許可を得てから移動する。
- (カ) 記録担当の記録を、新しい高さが変わる時と競技終了後に点検する。
- (キ) 制限時間に変更があれば、計時担当に指示する。
- (ク) 競技が終了したら、記録担当から記録用紙を受け取り、記録、順位、コメント等を確認の上、主任・跳躍審判長等の署名等を得て記録情報処理員に手渡しする。
- (ケ) 予選通過者について、主任・跳躍審判長の決定を得る。

《班長による競技開始前の点検事項及び確認事項》

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 競技場所の確認 | <input type="checkbox"/> 吹流し及びその設置場所 |
| <input type="checkbox"/> 支柱及び位置の確認 | <input type="checkbox"/> 競技者用テント、ベンチの数と位置 |
| <input type="checkbox"/> マットの状態確認 | <input type="checkbox"/> 判定用紅白旗 |
| <input type="checkbox"/> 使用するバーの本数と状態の確認 | <input type="checkbox"/> 記録担当用机椅子及び記録用紙、筆記用具 |
| <input type="checkbox"/> バー掛けの本数と状態の確認 | <input type="checkbox"/> マットに貼る0ライン位置テープ |
| <input type="checkbox"/> 高度計の確認 | <input type="checkbox"/> 助走路用リボンロッド |
| <input type="checkbox"/> リボンロッド用重石 | <input type="checkbox"/> ハンドマイクの確認 |
| <input type="checkbox"/> 情報関係一式 | <input type="checkbox"/> 制限時間告知器の点検確認と位置、黄旗 |
| <input type="checkbox"/> フィールド電光掲示板 | <input type="checkbox"/> マーカーの準備(数、ガムテープ) |
| <input type="checkbox"/> マットカバー | <input type="checkbox"/> 光波計測装置 |
| <input type="checkbox"/> 踏切位置の確認シート | <input type="checkbox"/> ポール置き台の台数と状態の確認 |
| <input type="checkbox"/> 滑り止め | <input type="checkbox"/> 競技者用、審判員用のパラソル等 |
| <input type="checkbox"/> ラインテープ(幅10mm) | |

② 主審(判定員)

- (ア) 判定の責任者として、有効・無効の判定を紅白旗ではっきりと表示する。
- (イ) 班長の指示を受け、紅白旗を用いて、競技開始・競技終了の合図を本部、競技者、会場に告げる。
- (ウ) 試技の開始準備ができたなら記録担当に報告し、ナンバーカードを呼び出してもらい、その後競技者に白旗をおろして知らせる。
- (エ) 呼び出した競技者と試技する者が合っているか、ナンバーカードをチェックする。

③ 計測担当

- (ア) 競技開始前に、次のことを注意する。
- ・ 競技者係より連絡を受け、規定の申請がある競技者の申し出により支柱の移動を行う。
(アップライトの移動)
 - ・ バー止めは、確実にねじが止めてあるか確認する。
 - ・ 競技者が試技をする前に、バーの位置と揺れを確認する。
 - ・ 支柱の移動(アップライト)は、棒高跳用ボックスのピットより上縁、延長線、着地場所に向かって80cmを超えていないか。
 - ・ マットに、ボックスラインを合わせてラインテープ(幅10mm)を貼る。
- (イ) 競技者係から連絡を受け、規定の申請がある競技者の申し出により支柱の移動を行う。
- (ウ) バーの上げ下げをする。
- (エ) バーを新しい高さに上げた時は、競技者が試技を開始する前にその高さを計測する。
- (オ) 記録(日本記録、大会記録等)になる場合は、バーがその高さにかげられた時、計測の点検をする。計測後の試技で競技者がバーに触れた時は、次の試技の前にその高さを再計測する。
- (カ) 競技者の跳躍直後、バーあるいは支柱から離れてポールを受け取る。(ポールとり)
- (キ) 光波測定器担当と連携し、確認し合いながらバーの高さ測定を行う。

④ 記録担当

- (ア) 競技者のナンバーを確認し、判定員の判定に従い、有効・無効を定められた記号で、その都度記入する。その際「よし」「だめ」を複唱し、記入間違いのないように注意する。ラウンドごとに照合点検する。
- (イ) パスする競技者を確認する。ある高さをパスした競技者は、その後同じ高さを試技するこ

とはできない。ただし、他の競技に出場している場合は、TR26.2による。

- (ウ) 試技の時、ナンバーカードを読み上げ、試技を促す。(同時に判定員が白旗をおろして合図をする)
- (エ) 記録(日本記録、大会記録等)が試みられる時は、班長に伝え、アナウンサー及び主任・跳躍審判長にインカムで連絡してもらう。
- (オ) 記録表示板にラウンド・高さ・ナンバーを表示し、観衆・アナウンサーに告知する。

⑤ 計時担当

- (ア) 制限時間を競技者(試技者)に指示する責任を持つ。
- (イ) 試技ができるようにすべての準備が完了した時(呼出担当が前もって指示し、記録担当が競技者の呼出し完了後)、判定員が白旗をおろすと同時に、計時担当が制限時間告知器をスタートさせる。
- (ウ) 制限時間が残り 15 秒になったら黄旗をあげ続けるか、その他の方法で適切に知らせる。ただし、極端に競技者を刺激しないように気をつける。
- (エ) 制限時間を超過した時は、判定員に連絡する。
※ 助走を開始したら問題はない。ルーティンに関しても気をつける。
- (オ) 競技中に試技者に妨害が生じないように注意する。

⑥ 競技者呼出し担当

- (ア) 記録担当審判員に出場競技者、ナンバー、試技順を確認し、競技者の点呼とナンバーカードの点検をする。
- (イ) ポールに巻かれたテープの点検をする。
- (ウ) 競技者の掌握と管理を行う。(助言に注意し、特に監督・コーチ等の呼び寄せに応じさせない。また、状況により、場内司令及び審判長に連絡、報告する)
- (エ) 助走マークの使用について指示する。
- (オ) 競技者に試技順を知らせ試技順で平等に練習させる。練習が終了したら班長に連絡する。
- (カ) 他の種目を兼ねている競技者については、跳躍審判長→跳躍主任の指示を得て、記録担当と連絡をとって処理する。(事前打ち合わせをしておく)
- (キ) 競技が開始され、一人の競技者がスタート地点に立ったら、次の競技者に準備をさせる。また、試技をパスする競技者がいる場合は、できるだけ早く次の競技者にその旨を知らせる。
- (ク) 場内司令と連携をとって、試技終了競技者の退場を適宜指示する。(できるだけ、人数をまとめてミックスゾーンを通過して退場させる)また、トイレ等で競技場を離れる時は、場内司令と連携して対応する。
- (ケ) 8位までの入賞者は場内司令を介してミックスゾーンに誘導し、入賞者管理係に引き継ぐ。

⑦ 光波計測器担当

- (ア) 高さを変更するたびに、正しく設置されているかの責任業務。
- (イ) 準備時間に光波計測器の設置と管理を行う。

⑧ 補助員の任務

- (ア) バーをバー止めにのせる。
- (イ) 審判員の指示に従い、バー止めを上下させる。
- (ウ) バーの揺れを止める。
- (エ) 支柱移動(アップライト)の補助を行う。
- (オ) ポールとりの補助を行う。

(3) 走幅跳・三段跳

① 班長

(7) 特に次の事項に留意し、班全体の管理・運営にあたる。

- ・ 班の審判員及び補助員を確認し、業務担当の指示をする。
- ・ 競技場所へ持参する用器具等を、競技場所準備の 30 分前に用器具の一覧表をもとに、用器具係から受け取る。(他の班員とともに確認して行う) 競技終了後は点検して返納する。
- ・ 競技場所を設置する時、班員に作業内容を指示する。(設置する時間は運営計画表による)
- ・ 競技開始前に競技場所及び用器具等を再点検し、不備な点があれば担当の係に連絡して、準備を完了させる。
- ・ 選手誘導係から競技者を引き継ぎ、競技者に対して諸注意を与え、その後最終点呼を行い、ナンバーカードを確認する。
- ・ 好記録保持者の試技は、新記録が期待されるため、アナウンサー(ディレクター)及び主任・跳躍審判長にインカムを通じて連絡する。
- ・ 同時に行われている他の競技の様子を見ながら、試技スタートの指示を競技者呼出係、主審等に出す。
- ・ 競技者に緊急を要する事態(傷病など)が発生した場合は、インカムを通じて緊急事態マニュアルに従って、主任・跳躍審判長に連絡する。
- ・ 審判員、補助員の入退場の指揮をする。
- ・ 審判員、補助員の昼食、給水、休憩の指示をする。

《班長による競技開始前の点検事項及び確認事項》

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 競技場所の確認 | <input type="checkbox"/> 吹流し及びその設置場所 |
| <input type="checkbox"/> 踏切板及びその位置の確認 | <input type="checkbox"/> 粘土板及び作業場所等の確認 |
| <input type="checkbox"/> 砂場の状態確認 | <input type="checkbox"/> 判定用紅白旗 |
| <input type="checkbox"/> コーンの確認 | <input type="checkbox"/> 記録担当用机椅子及び記録用紙、筆記用具 |
| <input type="checkbox"/> 距離計測器の確認 | <input type="checkbox"/> トップ 8 表示板セットの確認 |
| <input type="checkbox"/> 助走路用リボンロッドの確認 | <input type="checkbox"/> 競技者用ベンチ及び位置確認 |
| <input type="checkbox"/> ハンドマイクの確認 | <input type="checkbox"/> 情報関係一式 |
| <input type="checkbox"/> 制限時間告知器の点検確認と位置、黄旗 | <input type="checkbox"/> フィールド電光掲示板 |
| <input type="checkbox"/> マーカーの準備(数、ガムテープ) | <input type="checkbox"/> 砂場区画リボンテープの確認 |
| <input type="checkbox"/> 踏切位置の確認マーク | <input type="checkbox"/> 審判員、補助員用のパラソル等 |
| <input type="checkbox"/> 砂場整備用具等の確認 | <input type="checkbox"/> 記録表示器及び PC との接続状態の確認 |
| <input type="checkbox"/> 距離表示器及び各記録(日本記録・大会記録等)の確認と表示 | |
| <input type="checkbox"/> 商標マーク隠し用テープ | <input type="checkbox"/> 踏切版選手確認用台 |

(4) 競技者が競技場所に到着したら、次のことに注意する。

- ・ 練習は審判員の指示に従って行わせ、自分勝手な練習や競技中の練習は禁止させる。
- ・ 試技が許される時間を知らせる。
- ・ 競技中、監督・コーチ等の助言・助力に注意する。
- ・ パスをする競技者は、記録担当まで申し出させる。
- ・ 他の種目を兼ねる競技者は、必ず班長に申し出させる。
- ・ 競技者からカメラマン等が気になる旨の申し入れがあればそのカメラマンに注意をする。
- ・ 競技終了後、8 位までの入賞者を速やかにミックスゾーンに誘導し、入賞者管理係に引き継ぐ。

(5) 計測に立会い、記録を確認する。

- (エ) 新記録が樹立された場合は、風力を確認の上、主任の確認を得て、主任・跳躍審判長に報告し速やかに総務員(競技進行担当)に連絡する。
- (オ) トップ8について、主任が跳躍審判長に伝え決定を得る。決定後競技進行ディレクターに連絡する。
- (カ) 競技が終了したら、記録担当から記録用紙を受け取り、記録・順位を確認の上、主任・跳躍審判長の署名等を得て、記録・情報処理員に手渡す。

② 主審(判定員)

- (ア) 判定の責任者として、TR30・TR31に基づき、有効・無効試技を判定する。
- (イ) 競技開始・終了の合図を行う。
 - ・競技開始通告は、班長と確認し、助走路に入り、本部と競技者及び観客に向かって紅白の旗をあげ、競技開始を告げる。(本部席側とメインスタンド側の2方向が望ましい)
 - ・競技終了通告は、競技すべての業務が終了したことを班長と確認し、助走路に入り、本部と競技者に向かって紅白の旗をあげ、競技終了を告げる。(本部席側とメインスタンド側の2方向が望ましい)
- (ウ) 踏切板から少なくとも1m離れて主審業務を行う。
- (エ) 踏切板(粘土板を含む)及びその付近(砂場のレベル状態と整地状態を含む)を確認し、不備がある場合は、他の担当審判員に伝える。
- (オ) 試技ができるすべての準備が完了したら、赤色のコーンを除き、白旗により競技者と競技者呼出し担当に知らせる。
- (カ) 判定の責任者として踏切と着地を確認し、特に競技者が砂場から出る方向を確かめて紅白旗により判定を明確に表示する。

③ 副審(判定員)

- (ア) 主審の背後に立ち、主審と連携し、TR30・TR31に基づき、有効・無効試技を判定する。
- (イ) 試技後に踏み切り板にコーンを置き、試技前に撤去する。
- (ウ) 主審の指示に従い、主審業務を分担して行う。

④ 計測担当(3人で行う 光波測定・着地確認・計測ピンさし)

- (ア) 3人で担当し、計測の責任を持つ。
- (イ) 日本記録・大会記録及び予選通過記録の表示をする。
- (ウ) 着地担当(計測ピンさし)は踏切線に最も近い痕跡を確認し、両手で計測ピンを垂直にさす。両足着地での痕跡が同じようなラインの場合は計測ピンを2本さし、主計測に任せる。
- (エ) 光波測定担当(主計測)は、踏切線に最も近い痕跡を確認し、あらかじめ目測で計測器のゲージを痕跡まで移動させてから、垂直のピンと砂場の接地面に合わせ計測する。
- (オ) 計測担当(着地確認)は、その計測が正しく行われているか確認する。
- (カ) 計測担当(光波測定)は、記録担当に正対し明確に記録を声にて知らせ、複唱させ確認する。
- (キ) 新記録が出た時は、直ちに主任・跳躍審判長の確認を得て、跳躍審判長のサインを得た上で、記録・情報処理員に提出する。
- (ク) 日本記録・大会記録等に留意する。(新記録樹立の場合は、班長に伝え、班長から跳躍主任に報告する)
- (ケ) 整地担当(砂場の平面等整地)の補助(平面整地の指摘指示等)をする。
- (コ) 計測器の設置・管理等に責任を持って行き、競技開始前の設置については数人で行う。

⑤ 記録担当(2人で行う 筆記記録・PC)

- (ア) 助走路に入る前に、競技者のナンバーを試技順と合っているか確認する。
- (イ) ナンバーを呼び、試技を促す。
- (ウ) 記録の記入、PCへの入力 は明確な音声で複唱して行う。PCへの入力 は、記録情報員が行うが、PCは確認のため同席する。
- (エ) フィールド電光掲示板に、ラウンド、記録、ナンバーを表示、観衆、アナウンサーに告知する。
- (オ) 風力測定員が、風力表示板に表示した風力・風速を記録する。
- (カ) 決勝において、トップ8が決定したら、班長、主任、跳躍審判長の確認を得て、競技者に伝える。
- (キ) 新記録誕生の時は、アナウンサー及び主任・跳躍審判長に、競技者名、所属、その記録を連絡する。

⑥ 計時担当

- (ア) 競技の進行と試技時間計時の責任を持つ。(競技者呼出し担当と連携する。)
- (イ) 競技者のナンバーが呼ばれたら計時を開始し、規定時間を超過しないように注意する。残り15秒になったら、黄旗を上げ続け、競技者に伝える。なお、競技者を極端に刺激しないように配慮する。(制限時間の変更に注意する。)
- (ウ) 制限時間を超過した時は、判定員に連絡する。
 - ・制限時間内に助走を開始すれば問題はない。
 - ・ルーティンについては、助走アクションとしてみなすが、大幅に超過する場合は予め注意をする。

⑦ 競技者呼出担当

- (ア) 出場競技者名、ナンバー、試技順を確認する。
- (イ) 記録担当と記録用紙等の出場競技者名、ナンバー、試技順を確認する。
- (ウ) 最終点呼の際、スパイクシューズ及びピンの長さ と数、商標マークの点検をする。不備がある場合は、競技者にその旨を伝え、改善させる。
- (エ) 競技者の掌握と管理をする。(助言に注意し、特に監督・コーチ等の呼び寄せに応じさせない。状況により、班長に伝えた後、マーシャル及び主任・審判長に連絡する。)
- (オ) 助走マークの使用について指示し、配布(最大2個)する。マークの置き方と競技終了後の片づけについての説明をする。(終了後は速やかに撤去するように促す)
- (カ) 競技者に試技順を知らせ、試技順に平等に練習させる。練習が終了次第班長に連絡する。
- (キ) 他の種目を兼ねている競技者については、主任・跳躍審判長の指示を得た上で、記録担当と連絡をとって処理する。(事前打ち合わせをしておく)
- (ク) 競技が開始され、一人の競技者がスタート地点に立ったら、次の競技者に準備させる。また、試技をパスする競技者のある時は、できるだけ早く次の競技者にその旨を知らせる。
- (ケ) マーシャルと連携して、試技終了競技者の退場を適宜指示する。(できるだけ、数名まとめて退場させる)また、トイレ等で競技場所を離れる時は、マーシャルと連携して対応する。同性の者が連れて行くこと。
- (コ) 8位までの入賞者をマーシャルがミックゾーンに誘導し、入賞者管理係に引き継ぐ。

⑧ 着地担当

- (ア) 跳躍場区画ラインの責任者
- (イ) 砂場の平面は、踏切板の上部と同一水準になるように、砂場を管理する。
- (ウ) 競技開始前に砂場の湿り具合、砂の量を点検し、不備な点があれば担当役員に連絡をとり完備しておく。
- (エ) 計測担当が「よし」の合図をしたら、素早く砂場を水平にならすよう補助員に指示を与

え、最終の仕上げを行う。

(オ) 痕跡の判定を補助する。

(カ) 報道関係者が競技者の妨害にならないように配慮する。(報道係・場内司令と連携する)

⑨ 補助員の任務

主任の指示により、関係業務の補助にあたる。

⑩ 整地担当

(ア) 競技中の砂場の整地管理を行う。必ず常にフラット状態にする。

(イ) 競技中は、一歩砂場から離れて立ち、選手及び計測係りの妨げにならないようにする。

⑪ 粘土板担当

(ア) 練習及び競技で使用し、ファール等の痕跡の確認が終了した後、復元させる。

(イ) 競技中は、ファール直後にその選手に痕跡を確認させるため、ピット外に場所を設け提示する。

4 その他

(1) 全役員(審判員・補助員)は、競技開始と終了の判定員の合図に合わせて、本部(観客席側)と競技者に向かって一礼をする。

(2) 跳躍競技の予選は、1組と2組の2ピットで行われる。同時に開始する。

(3) 競技場への出入りは、補助員を含め2列で整列し、移動中も整然と行う。

(4) 競技場内での私語は慎み、競技者への対応はルールに沿いながらも、おもてなしの気持ちを忘れず、競技者や会場内の方々に気持ち良く参加していただける競技会にする。

(5) 審判員同士の業務による会話も極力少なくすることにより、信頼性が高まるが、連携等を最優先する。

(6) 現場の主任と本部(審判長等)との連絡等が競技者や観客等に漏れないように配慮する。

(7) 審判員の服装規定を守る。

(8) 報道関係者への対応は、毅然とした対応を行い。不確かな情報や特別な扱い等がないように徹底する。

(9) 検討や調整が発生した場合は、全審判員への伝達を徹底する。